

市長ふれあい訪問 ③

市内で活躍している団体や地域に貢献している団体などを市長が訪問します

朗読ボランティア うしお文庫

目の不自由な方のために、広報やしおなどを朗読し、カセットテープに収めて配布している「朗読ボランティアうしお文庫」を多田市長が訪問しました。

市長 皆さんこんにちは。今回の市長ふれあい訪問は、「朗読ボランティアうしお文庫」の皆さんを訪問しました。よろしく願います。はじめに、いつ頃からどのような活動をされているのか教えてください。

会長 うしお文庫は、昭和60年9月1日に設立されたボランティア団体で、「広報やしお」や県の広報紙「彩の国だより」、社会福祉協議会の「社協インフォメーション」「ぬくもり」などを朗読してカセットテープに収め、「声の広報紙」として目の不自由な方々にお届けしています。

市長 そのほかにいろいろな活動をされているようですが、聴かせてください。

会長 八幡図書館と八條図書館で毎月交互に、子どもを対象にした日曜朗読会と大人を対象にした水曜朗読会を開催しています。また、やしお苑などの高齢者福祉施設の訪問活動のほか、さまざまな催しの進行アナウンスなどに協力しています。

市長 日ごろの活動で、ご



苦勞されていることはありませんか。

市長 皆さんの声を、毎月待ちわびているリスナーの皆さんがいますので、末永く続けていただければと思います。

市長 最後に、今後の抱負などを聴かせてください。

会長 リスナーの皆さんに親しまれる朗読技術の向上を図り、声の広報の役割を果たしていきたいと考えています。

市長 これからも多面にわたる活躍に期待をしています。今日はありがとうございました。

小中一貫教育の取り組みを発表



11月30日、中川小学校と潮止中学校（潮止中ブロック）で、全国各地から教育関係者やPTAなど約270人の参加の中、小中一貫教育研究発表会が開催されました。

両校は独自の「なかしおプラン」を策定し、家庭や地域と連携しながら、小中一貫教育の研究実践を進めています。公開授業では、中川小6年生と潮止中2年生によるジョイント教室が実施され、ロールプレイを取り入れながら人間関係の構築について学びました。

また、文教大学の平沢茂さんによる講演会「学校から家庭へー我が校と我が家の小中一貫ー」が行われ、小中一貫教育を一層推進するためには家庭の協力が不可欠であるとお話をいただきました。

健康な生活を送るために



11月14日、保健センターで、「第13回八潮市健康・スポーツ都市宣言まつり」が開催され、各コーナーに約1,700人の来場者でにぎわいました。

「健康やしお21」をテーマに、「健康・スポーツ都市宣言」を市民の皆さんと共に考える場として歯科相談、体力測定、メタボ予防の試食などが行われました。また、NHKテレビ・ラジオ体操指導者の西川佳克さんによる介護予防講演会では、体操が介護予防に大変重要であることを参加者の皆さんに学んでいただきました。

どんぐりこままわしで世代間交流



11月7日、やしお生涯学習館で、「第13回ふれあいどんぐりこままわし大会」が開催されました。

参加した子どもたちはこまの作り方からまわし方まで、八潮市コミュニティ協議会の委員にアドバイスをもらいながら、オリジナルのこま作りに夢中になっていました。また大人も積極的に参加し、童心に返った笑顔が見られました。

約250人の参加者は、こまの回った時間を競いながら、和気あいあいとした時間を過ごし、地域および世代を超えたふれあいや交流を図りました。

ニュースポーツを楽しみました



11月28日、エイトアリーナおよび鶴ヶ曽根運動広場で「第9回スポーツフェスティバル」が開催され、約200の方が参加しました。さいかつぼーる、ローンボウルズ、バドミントン、ディスクゲッター、グラウンド・ゴルフの体験が行われ、幅広い年齢層の参加者がそれぞれの体力に合わせ、良い汗を流し楽しんでいました。

また「第1回さいかつぼーる大会」も同時開催され、体育館内にたくさんの歓声があがりにぎやかなフェスティバルとなりました。

さいかつぼーる大会の結果は次のとおりです。優勝＝エイトリングス、準優勝＝八幡レディース、第3位＝ひまわり

いきいきやしお写真館

この広報紙は、再生紙と大豆油インクを使用しています。

◆広報やしおは、毎月1回、10日（新聞休刊日を除く）に新聞折り込みで配布しています。届いてない世帯の方は、最寄りの公共施設、金融機関、市内10カ所のコンビニエンスストア、八潮駅などでお受け取りになれます。なお、次回の新聞折り込みは、1月10日（月）です。